

みどりの杜俳句会

仰ぎ見る山の冬空雲白し

佐山けさ子

杖ついてバスを降り来る秋遍路

馬場 芳

音たてて枯葉舞ひ来る山の家

山崎 才子

窓近く楓紅葉の紅さ増す

田村 好子

百目柿熟ししたたる甘さかな

梅沢きくえ

毛糸編む友の好みの色選び

鈴木 啓子

一ひらの落ちくる黄葉じつと見る

木本 弘子

菊つぼみ今年まばらや庭の隅

高橋 ツ子

包丁に柿の皮むく日向かな

飯野はつ志

毛糸編む消毒用の小びん入れ

吉田 愛子

冬至柚子香り一番星窓に

今村千鶴子

生り年の柚子のまつ黄や庭畑

小宮 勉

山雨止み日の射す紅葉神隠し

岩崎 真人

今朝の霜真白きを踏み出勤す

小林 和幸

晩秋や社へ帰る日指を折る

西 つる

窓辺より仰ぎて山の冬紅葉

谷内 真里

山坂に沿ひてうす紅冬桜

関口 侑子

はつ冬の皆既月食見え隠れ

野口利江子

山茶花の一輪ひらき四つ目垣

岡部富美子

初氷轍に碎け駐車場

土屋 厚子

栗の毬集めて畑に焚火かな

初雁 功子

赤城嶺の晴れ麦蒔機動き出す

山田 美子



人権シリーズ

387

『公平と平等について』

みなさんは、公平と平等の違いについて考えたことがありますか。公平と平等。どちらの言葉も同じような意味合いで捉えられがちですが、実は、二つの言葉には大きな違いがあります。そして、その違いを認識することが、人権を考える上でとても大切なことであると私は考えています。

公平と平等の違いを、小学生のドッジボールを例に考えてみましょう。

どの学年でも同じコート内で、同じルールで行うのが平等。高学年は利き手で投げてはいけない等のルールを決めるのが公平。

つまり、公平とは、個々の能力や特徴、現在置かれている立場などを考慮して、物事を考えたり決めたりしていくことだと私は考えます。それぞれの違いを認め、みんなが幸福な生活を送れるようにすること。そのために、公平な考え方はとても重要であり、それが、正しい人権感覚にもつながるのです。

これからの未来を生きる子供たちこそ、正しい人権感覚を身につけ、幸せな生活を送ってほしい。そのために、まずは、私たち大人が、正しい人権感覚を身につけている背中を見せて、子供たちの道標にならなければいけないと私は感じています。人種も、性も、宗教も、考え方も、それぞれの違いを認め合える公平さをもち、みんなが平等に幸せを感じられる。そんな笑顔あふれる未来を、私は思い描いています。

槻川小学校主幹教諭 河西 亜記子

東秩父村教育委員会開催のお知らせ

日時 1月25日(火) 午後1時30分～

場所 役場2階新会議室

問合せ 教育委員会事務局 ☎82-1230

